

提出日 2021 年 3 月 16 日

## バーチャル留学成果報告書

## 【参加者A】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光学	学科	3	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2021 年 2 月 9 日 ~ 2021 年 3 月 5 日 (約4週間)					
留学先 (国・地域)	ニュージーランド	留学先大学名	リンカーン大学			

1. 受講した理由、目的・目標	私はカナダへ1年間の語学留学を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により、計画を中止せざるを得ませんでした。学校側の留学プログラムもすべて中止になった時、このプログラムが代理のような形で紹介されました。今まで英語ネイティブ話者と話す機会をなかなか作り出せなかったし、受講することで自身の英語学習のモチベーション維持に繋がるのではないかと思います、参加費が安くなっていたので受講することにしました。
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など)	リンカーンでは3つのクラスがあり、1つ目はResearch skills、2つ目はAcademic Reading、3つ目がAcademic Writingです。1に関しては自分のレベルに合ったクラス割りでした。内容はニュージーランドの地域を一つ取り上げ、その地域について、歴史や地理などを詳細に書き出しレポートを作成します。何度もフィードバックを受けて完成させます。2は長文を素早く読む練習を行うクラスです。3は1と似ていてエッセイを書く練習を行うクラスです。2と3はとてもレベルが高く、ついていくのが大変でした。3つのクラスに共通していることは、グループワークを頻繁に行うということです。日本の授業形態との違いを感じました。
3. 受講の成果 ( ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など )	今回受講したプログラムは全体的に、私にとってはレベルがかなり高く感じました。それゆえに最初の目標は休まないことでした。先生が何を言っているのか、今何の話をしているのか、授業の説明には何と書いているのか。など難しいことが多く、ついていくことで必死にならざるを得ませんでした。ですが休まないことに関して言えば、ほぼ完ぺきだったと言えます。次第に授業のシステムには慣れていき、英語が聞き取れるようになっていきました。4週間という短い間にはいい結果と経験を得ることができたと実感しています。世界には自分よりたくさん勉強をして、競争している人たちがたくさんいることも知りました。まずは、英語がある程度出来て当たり前なのかもしれないと感じました。
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか	このプログラムを通して一番有益だったのは、英語学習へのモチベーションの向上です。これはなかなか得ることが難しいものだと思っています。ここから積極的に英語に関心を持ち、効率のいい勉強法を模索しながら行動していくことができると確信しています。英語のネイティブ話者と話したり、聞いたりする機会をたくさん設けていき、さらなる英語力の向上に努めようと思います。
5. 自由記述	【受講前後TOEICスコア】 受講前: 450 受講後: 740

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。